

2025 年 3 月 14 日
オリックス資源循環株式会社

**埼玉県、寄居町および地元環境協議会とともに
埼玉県内の廃棄物処理および循環型社会の構築における協力協定を締結しました**

オリックス資源循環株式会社（本社：埼玉県大里郡寄居町、社長：有元 健太郎）は、2 月 18 日（火）に、埼玉県、寄居町および地元環境協議会とともに、4 者合同で「PFI 事業契約終了に伴い締結する循環型社会の形成の推進及び災害廃棄物の処理等に関する協定」を締結しましたのでお知らせします。



協定書締結の様子（左から、オリックス資源循環株式会社
社長 有元 健太郎、埼玉県知事 大野 元裕氏、寄居町長 峯
岸 克明氏、寄居町連合環境協議会 会長 原口 孝氏）



感謝状贈呈の様子（左から、オリックス資源循環株式会社
社長 有元 健太郎、埼玉県知事 大野 元裕氏）

当社は、寄居町にある彩の国資源循環工場に立地し、2006 年より 20 年間、埼玉県との PFI 事業として廃棄物処理施設を運営してきました。産業廃棄物に加え、関東圏および周辺の市町村から一般廃棄物の処理を受託するとともに、災害廃棄物の処理やごみ処理施設のバックアップ機能を担うなど、県内外の廃棄物の円滑な処理に尽力してきました。

PFI 事業としての廃棄物処理の運営期間が 2024 年 3 月に終了したことに伴い、このたび、引き続き県内の廃棄物処理や循環型社会の構築において協力して取り組む旨の協定を締結しました。

埼玉県は、埼玉県が策定する廃棄物処理基本計画等に基づき、必要に応じて当社の施設活用について協力を求めることになります。県下の廃棄物の適正処理確保※や、廃棄物処理の広域化推進、サーキュラーエコノミーの推進のために、当社と埼玉県で協力して取り組んでまいります。

また当日は、当社がこれまで埼玉県の PFI 事業を通じて廃棄物の安定的な処理に尽力し、循環型社会の推進に貢献してきたことに対し、埼玉県知事より感謝状をいただきました。

この 20 年間、事業継続にあたり、埼玉県、寄居町および地元の皆さまにご理解とご協力をいただいたことに感謝をいたします。これからも当社は、安心安全な施設運営を継続し、リサイクル率の向上およびサーキュラーエコノミーの実現に貢献してまいります。

※埼玉県内のごみ処理施設の故障、施設更新、修繕等、処理不能時のバックアップ処理、災害廃棄物の処理を含む。

以 上

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 TEL：03-3435-3167